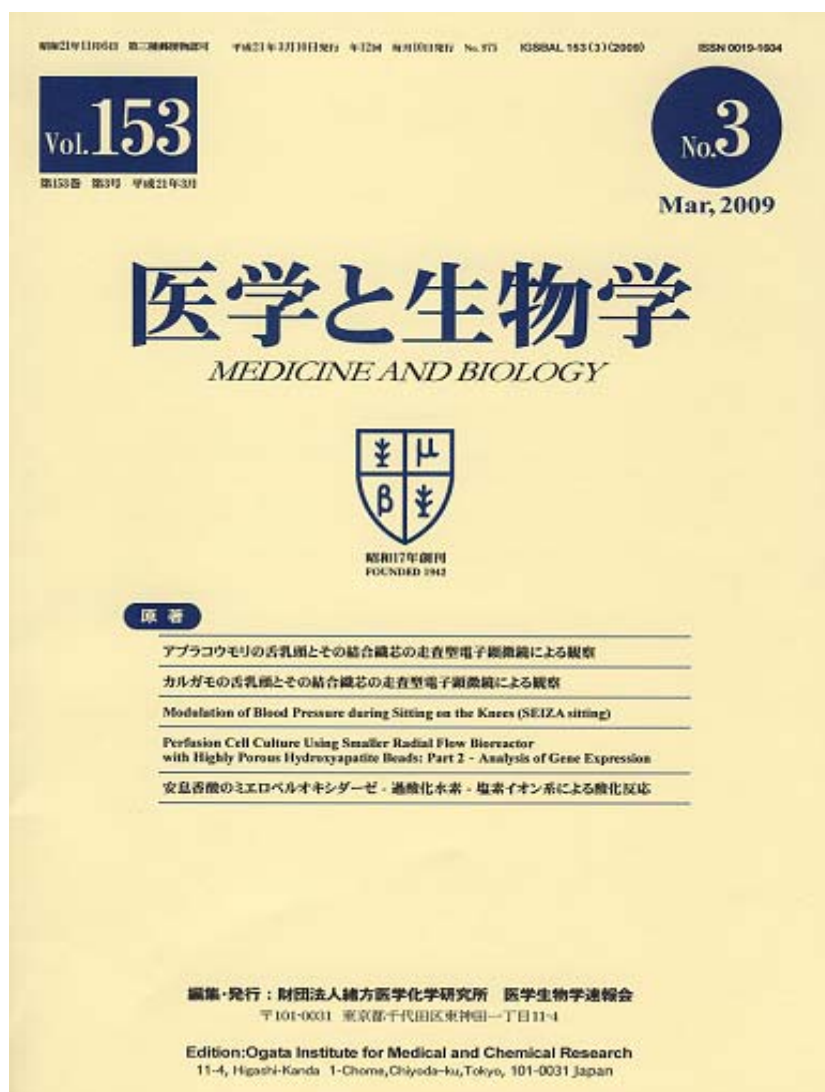


だけではなく、それぞれ、大阪大学医学部、東京大学医学部に発展していったのです。これも忘れてはならない事実です。



2) 第18回定例会の報告

2-1 出席者6名(会員5名) 送付先確認メール(218名)

ここで取り上げた固定化試薬を中心とするバイオテクノロジーの領域はきわめて重要で将来大きな意味を持つてくるものと思われま

す。すなわち、例えてみれば、現在の太陽電池の領域と同じ様な意味合いで考えられます。太陽エネルギーは薄く広く広がっているので纏めにくいのですが、一旦、まとめれば膨大なものです。バイオテクノロジーの個々の事項は小さなものですが、その数は膨大です。バイオテクノロジー領域も纏めにくいので、ほったらかしにされていますが、全部を纏めれば巨大産業と成るはず

2-2 次の3つのCDを資料として配布しました。

- ① バイオリアクター—生化学的側面から” 福井三郎、田中渥夫著（1986）
- ② バイオリアクター 細野邦明（1990）
- ③ 味覚センサー 吉川研一（1989）

3) 第19回定例会のお知らせ

バイオテクノロジー標準化支援協会 第19回 定例会

日時 2010年04月23日(金) 午後1時30分—4時0分

参加費：無料

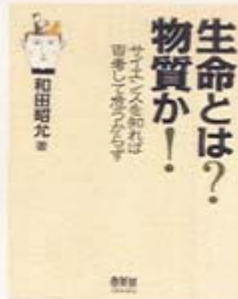
- * (定例会は会員でも会員でなくても自由に出席して、自由に発言も出来ます。) 友人同士誘い合わせてご出席ください。出席するのが面倒な方はメールでご意見をお寄せください。

場所 八雲クラブ (ニュー渋谷コーポラス 10階・1001号) (首都大学東京同窓会)
前回の出席者の方から会場の場所が分かり難いというコメントがありました。
簡単な見付け方は、まず、“東急ハンズ”と パルコ III を見つけてください。ハンズの 正面から見て左の辻 (つまりハンズとパルコ III との間の道) を入るとハンズの商品の搬入口があります。 その搬入口に向かって左側がニュー渋谷コーポラスの入り口です。) 地図はホームページ ジャーナルの10号に載っています。
住所： 渋谷区宇田川町 12-3
電話番号： 03-3770-2214

話題

“生命とは？ 物質か！”

第18回の定例会で生物試料(あるいは、生物そのもの)の試薬としての標準化の話題を取り上げました。これの関連して和田先生のこの書物の話が話題になりうるものか取り上げてみたいと思います。



セイメイトハブッソツカ サイエンスヲシレハヒヤッコウシチアヤウカラズ

生命とは？物質か！—サイエンスを知れば百考して危うからず

和田 昭允【著】

オーム社（2008/11/28 出版）

283p / 21cm / A5判

ISBN: 9784274501586

NDC分類: 461.04

価格: ￥1,890 (税込)

詳細

生命はなぜ不思議か？「遺伝情報の大量解析時代」到来を世界に先駆けて予見し、日本のゲノム研究を牽引してきた著者が、「生命」に新たな視点を与え、境界を越えた科学研究の醍醐味を語る。

第1部 生命とはなんだろうか—彼を知る(壮大な自然を眺望する—時間・空間、そして領域:生命はなぜ不思議か—物質界の特区:物質と生命の違い—情報と秩序の観点から:人工機械と生命機械—比喩と解析:設計書を開く—生命戦略の解明に向けて)

第2部 科学者の発想—己を知る(探究—理解・納得—知のらせん階段:アイディアの湧出と紆余曲折—議論から理解へ:岐路と判断—科学者であることの醍醐味:元気を出そう—日本人は科学者・技学者になる資質をもっている)

世界ではじめてヒトゲノムの大規模解析を唱えた著者が、専門領域を越えて挑戦する生命科学のすばらしさを語る。「彼を知り己を知れば、百戦して殆からず」彼＝自然や生命を知り、己＝科学者であることを知る。本書の第1部では、自然界にはどんな過去と現在があるのか、これまでどのように探られてきたか、どんな背景があるのか、とくに生命界を物質界でどのように位置づけるか、を考える。また第2部では生命を科学することの目的は何か、それに達するために、どんな考え方をするのか、どんなツールをもっているかを語る。本書を通じて生命科学

著者紹介

和田昭允【ワダアキヨシ】

1929年6月28日、東京赤坂に生まれる。東京大学理学部化学科卒業(1952年)、理学部化学科助手(1952年～1956年)。ハーバード大学博士研究員(1954年～1956年)。お茶の水女子大学理学部化学科講師、助教授(1956年)。東京大学理学部物理学科講師(1962年)、助教授(1963年)、教授(1971年～1990年)。東京大学評議員(1988年)、理学部長(1989年)。(財)相模中央化学研究所理事(1990年～2001年)。日本学会議会員(第4部:理学)(1991年～2000年)、第4部長(1997年～2000年)。理化学研究所ゲノム科学総合研究センター所長(1998年～2004年)。理化学研究所研究顧問(2008年～)。理化学研究所ゲノム科学総合研究組織組織長(2008年～)。お茶の水女子大学学外理事(2005年～)。高療学学外理事(2008年～)。東京理科大学特別顧問(2004年～)。横浜サイエンスフロンティア高等学校常任スーパーアドバイザー(2008年～)。新世代研究所最高顧問(2003年～)。横浜市青少年育成協会副理事長(2005年～)。(財)横浜市青少年育成協会「はまぎんこども宇宙科学館」館長(2004年～)。かずさDNA研究所理事(1991年～)。仁科記念財団評議員(1985年～)。伊藤科学振興会評議員(1998年～)。未来工学研究所評議員(1999年～)。東京倶楽部理事(1997年～)。未踏科学技術協会理事(2003年～)。科学技術国際交流センター評議員(1991年～)。日本学会議連携会員(2006年～)(本データはこの書籍が刊行された当時に掲載されていたものです)

4) ホームページに e-library のリストがあります。 会員の方はその中から希望のものをご指摘ください。

#####